

街中を子どもの学びの場

- 子どものための学びの場
- フリースクールとの連携

地域とともにあり、地域づくりに参画する学校
～共生社会の中の学校

子どものための学校・学級づくり・質の高い授業づくり
～たくましく・やさしい夢のある子どもを育てる～

自分の人生を豊かに
生きる教職員

縄文のビーナスプラン②
地域の特色と教育的財産を生かした小中一貫教育と探求的な学び

茅野市働き方改革の目標
子どものための学校・学級づくり・質の高い授業づくり
—教職員が教育活動に専念でき、自分の人生を豊かにするための教育環境—
—時間を生み出す工夫をしていく—

時間削減の目標

	R6年	R7年	R8年	R9年	R10年	R11年
小学校	35	34	33	32	31	30
中学校	42	39	36	33	30	30

縄文のビーナスプラン①
共生社会をつくり、子どもたちの多様性を包み込む学校

茅野市の働き方改革の具体

児童相談所・警察・外部機関との連携

働き方改革の核
～学校と教育委員会との役割分担と協働～ 子ども・家庭支援の充実と子ども家庭への支援・相談は **育ちあいちの** 学校・職員の支援の充実と精神的負担の軽減

市の社会福祉部門との連携

学校の取組 地域と共につくる学校

- 1 コミュニティ・スクールの充実 4 17
(地域コーディネータによる運営)
・子どもの学びのための支援
・学校施設整備への支援
・見回り(交通安全・不審者) 1
- 2 ボランティアの方による学びの支援 15
- 3 広報資料・ウェブサイトの作成 7

永明小学校では、コミュニティスクール8部会の皆様に、読み聞かせや総合的な学習の時間での学習支援、環境整備の支援をいただきます。

学校業務の効率化・軽減化

- 1 勤務時間の客観的管理・市教委の把握
- 2 校務のICT化 教師用タブレットとクラウド利用とネットワーク化
- 3 業務支援員の配置 16
- 4 会議、提出物の精選化
- 5 年間計画、日課表の改善(研究、授業準備の時間の確保、定時退庁日の設定)

永明小学校では、日課を見直し、6時間授業のときは下校時刻を15時30分、5時間授業のときは14時40分にして、授業準備の時間を確保し、質の高い授業を目指します。

教育課程の改善

- 1 1時間単位の授業の弾力的運用 (中学校)
- 2 小学校教科担任制
- 3 教具・教材の共有化

永明小学校では、小学校4年生より教科担任制を導入し、教員の専門性を生かし、質の高い授業に結びつけます。

働き方改革への市教委として教育活動への支援 ～リードから支援とアドバイスへ～

- 1 読書活動応援センター(読書指導への支援)
- 2 ICTサポートセンター(ICT教育のため12名を配置) 8
- 3 発達支援センターと特別支援教育支援員の配置(40名)
- 4 公民館等の公共機関による出前講座等による支援
- 5 いじめ対応の学校支援員会・アドバイザーの配置(弁護士、医師、心理の専門家・学識経験者)
- 6 部活動の地域展開(土日の部活はR8年度に完全展開 平日の部活動はR13年度までに完全展開) 13
- 7 不登校支援 サポートルームの設立(6サポートルーム、7ミニサポートルーム)まなざし 県費1名、市費10名の教員配置
- 8 給食指導、食育への栄養教諭、栄養士による指導 14

教職員のメンタルヘルス

- 1 ストレスチェックの活用
- 2 市独自のストレスチェックテスト
- 3 教職員の相談窓口(育ちあいちの)
- 4 教委による外部相談・医療紹介